

STORY

～ 世界が引きこもった時、僕は旅に出る ～

世界が静まり返り、まるですべての人々が引きこもってしまったような2020年。函館の洋館に住む自称「自宅警備員(引きこもり)」を名乗る45歳・独身のニート・古川稔。稔は世界の苦しみをよそに、われ関せずと快調に引きこもり生活を続け、早5年となっていた。

そんな時、母・のぶ子が亡くなり一人残された稔は、洋館の持ち主の伯父から洋館から出て行くように通告される。期限は一か月。伯父は洋館を取り壊して土地を売る算段だ。うろたえる稔の前に現れたのは、洋館に古くから住み着く家事妖精の絹(シルキー)。絹は密かに家事を手伝いながら、この洋館を守り、この街の100年の悲喜交々の出来事をつぶさに見てきた。絹は無謀にも稔に洋館を買い取って守れときつく促す。

努力や頑張ることを忘れてしまっていた稔は、絹にハローワークに行くようにと洋館から追い出され、戻るに戻れず途方に暮れながら函館の街を徘徊する。そんな時、公園で妖精を見ることができると少年富和星一郎と出会う。星一郎の友達はこの街に古くから住む妖精たちだ。妖精と遊びながら追いかける星一郎、それを追う稔、そして辿り着いた場所は、稔の住む洋館だった。

それ以来、洋館には誰もいないはずなのに、この街の哀しみを引き受けるかのような鳴き声が木霊し、稔の身に異変が起こり始める。売却期限が迫るなかで、稔は出来るはずはないと思いつつも自分の居場所である大切な洋館を救うために立ち上がる。

監督・編集
藤本 匠

脚本 潮 喜久知

出演 大沢 真一郎

木竜 麻生

田之下 雅徳
(子役)

中島 トミー

林家 たこ蔵

本城 祐哉

巻島 みのり

流山 児祥



映画を紡ぎ出す街・函館。 シナリオ大賞映画化プロジェクト第二弾

2019年第23回シナリオ大賞特別賞(荒俣宏賞)
受賞作「自宅警備員のフェアリーテイル」
(潮喜久知)を映画化



函館港イルミナシオン映画祭
シナリオ大賞映画化第二弾

11月20日(土)より全国公開

©「自宅警備員と家事妖精」制作者委員会

はこだてフィルムコミッション事務局

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号

(事務局: 函館市観光部観光振興課)

www.hakodate-fc.com

Tel 0138-21-3326

函館ロケ地マップ

1 弥生坂

稔の自宅である洋館に続く道として撮影されました。函館山麓の坂では最も長い坂で急勾配を登ると眼下に坂と海の函館らしい景色が広がります。



2 港の庵

稔のアルバイト先の食品工場として撮影されました。1902(明治35)年築で2014年にリノベーションされたこの建物は、普段開放していませんが、「函館西部地区バル街」などのイベントの際に、内部の様子を見る機会もあります。現在、日本初のバスク風美食クラブである「臥牡牛(がきゅう) 快食倶楽部 ソシエタ・ガストロノミカ」が管理しています。



所在地: 函館市大町8番26号

3 旧遺愛女子校宣教師館 (ホワイトハウス)

自称「自宅警備員」古川稔と「家事妖精」絹の物語の舞台です。ここは1908(明治41)年に宣教師の住宅として建てられました。西洋風の建築としての価値が高く、2001年には国指定重要文化財に指定されました。(年に1度、7月の末に3日間一般公開されています。)

所在地: 函館市杉並町2番31号



4 旧ロシア領事館

稔の自宅と対比するように廃墟となった洋館として登場します。幸坂(さいわいざか)の中ほどにあるこの建物は1908(明治41)年に完成したのですが、現在改装中で建物と景観を生かした施設に生まれ変わる予定です。このあたりからは函館港が一望できます。



6 地域交流まちづくりセンター

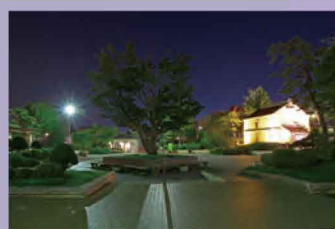
稔が職探しのため訪れたハローワークとして撮影されました。ここは1923(大正12)年築の建物(旧丸今井百貨店函館支店)を再利用し、地域の情報発信や市民交流の場の提供、および市民活動を支援しています。手動式の「東北以北に現存する最古のエレベーター」が稼働中です。

所在地: 函館市末広町4番19号
開館時間: 9:00~20:00 (休館日: 12/30~1/3)



5 元町公園

自宅を追い出され野宿を決め込む稔と印籠を探すオリバーはここで出会います。このシーンに登場する「函館四天王像」は、明治期に函館の発展に尽力された4人の財界人を顕彰して設置されました。



7 函館公園

稔はここで星一郎と出会います。1879(明治12)年、市民によってつくられた北海道最初の公園で、桜の名所としても知られています。また、日本最古級の観覧車がある遊園地「こどものくに」も園内にあります。



8 Tune Hakodate Hostel & Music Bal

自宅を追い出された稔はひよんなことからここに転がり込み、それが大きな転機となります。ここは湯川地区にあるシェアハウスで、ミュージックバルとゲストハウスが併設されています。音楽ライブや様々なイベントが開催され、旅人と地元の方々が交流する国際色豊かな場でもあります。

所在地: 函館市湯川1丁目30番1号

